

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かなゆめキッズま〜る		
○保護者評価実施期間	2026/2/26		2026/3/4
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026/3/9		2026/3/13
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026/5/12		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日々のミーティングや個別支援計画書作成のための会議などを作成の時間を確保して、職員で意見交換をしたり支援に活かしたりとできている。	・児発管のみで個別支援計画書の作成にならないよう、意識して職員全体でモニタリングを実施している。また、日々の職員の気づきなども拾い、ミーティングで共有するように意識している。	・子どもの支援に活かせるよう、朝のミーティングや個別支援計画書作成のための会議、支援者会議など時間を確保して継続して取り組んでいきたい。
2	・集団での活動も行うが、子ども発達段階に合わせて個別支援や集団の中での支援など両方行えていること。	・療育プログラムを決める際に、利用曜日により参加できる活動が偏らないように工夫して取り決めている。 ・個別対応が特定の職員のみで対応するのではなく、どの職員でも対応できるよう情報共有を行うことを意識している。	・子どもの発達段階の捉え方が職員でバラバラにならないよう、職員間で今一度発達段階を確認してそれに合わせた支援方法を検討していきたい。
3	・イベントが充実している。	・季節に合わせたイベントの企画や戸外活動など、子どもたちが季節感を感じられることを意識している。 ・こども会議を定期的で開催して子どもたちの「やりたい！」活動の意見を取り入れている。	・今後も子どもや保護者のニーズを踏まえながら、主体的に参加できるイベントの内容の充実を図っていく。 また、地域とのつながりや保護者同士の交流機会としての役割も大切にしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・静と動のスペースなどおおまかな部屋のつくりは分かれているが、クールダウンできるスペース(防音・遮光など)を設けることができていない。	・クールダウン部屋など、必要に応じて専用の場所を設置するだけのスペースが確保できていない。	・児童の成長に合わせて、活動内容を大きく分けたり部屋の使い方を工夫するなどしていきたい。
2	・児童の成長に伴うアセスメントの見直しやインフォーマルなアセスメントができていない。	・日々の支援提供や記録業務を優先するなかで、子どもの背景要因を丁寧に観察・共有する機会が不足していた。 ・職員間でアセスメント視点の共通理解や記録方法が統一できていないことが課題である。	・アセスメントする視点を言語化して共通理解した上で、子どもの背景要因を観察できるようにしていきたい。 ・インフォーマルなアセスメントシートを作成していきたい。
3	・保育園との情報共有の場を設けることができていない。	・日々の支援提供が優先となり、日程調整や時間確保が難しい。 ・連携の目的や役割分担が明確化されとらず、継続的な情報共有の仕組み作りまで至っていない。	・日々の送迎の際に短時間での情報共有を心掛けていきたい。 ・連携を行う上で目的や担当者を明確にし、保護者同意のもとで円滑な情報共有を進めていく。